

かがわ

自治連だより

住みたいね。嘉川 ひとよし ものよし ところよし



Vol.23 令和3年
9月1日

発行:嘉川自治連合会 編集:広報委員会

〒754-0897 山口市嘉川4651-1
山口市嘉川地域交流センター
TEL/FAX:083-989-3956
メールアドレス:info@kagawaj.com

大人の笑顔があふれる嘉川に

◎嘉川地区人権学習推進協議会 会長 伊川 利通

「おはようございます。」「こんにちは。」「いい天気ですね。」「ご精が出ます。」「仕事休みの日、畑で作業していると、たくさん声を掛けてもらえます。皆さん笑顔で、「何作っちゃってですか。」「よう出来ちよりますね。」「さらに話が弾みだすこともあります。おかげで、ずいぶんたくさんの方々と知り合いになりました。」「人権教育」というと、「大切だけど、難しい問題ですね。」「と言われ、と同時に「差別はあつてはならない。」「人権は



大切にすべきだ。」「とも言われ続けてきました。しかし、社会を見渡すと、決して差別はなくなっていない。」「前回の「あつてはならない。」「するべきだ。」「は、どこか他人事で、義務的な発想に思えるのです。さらに、「差別というマイナスがなくなつて、0になった。」「では、元気が出ず、笑顔になれません。」「お互いを大切に思い、出逢えたことを喜びあえる。」「というのが、私の思う人権教育の目標です。

「大人の笑顔」と題した訳は、教員時代や子育てを通しての私の経験からです。大人の心や体の元気が、子どもの元気を支えます。元気な笑顔の大人がいることで、安心して伸び伸びと育つことができるのです。自分の子ども時代を思い出しても、間違いなく感じています。嘉川をふるさととして愛する心の育成にも、大人の姿勢が重要です。『ふるさと』という、昔は自然や風景への想いの要素が大きかったのですが、今、大きな要素は「人」です。近所のおじちゃんおばちゃんたちが笑顔で繋がっている様子に安らぎを感じ、「嘉川っていいなあ。」と思えるのではないのでしょうか。大人が幸せの姿を示し、笑顔あふれる嘉川にしていきたいです。

なんと大躍進!! 15位から3位へ

～国勢調査結果の増加率順位～

◎広報部会 三輪 秀明

昨年10月に国勢調査が実施され、人口・世帯数の集計結果が過日発表された。山口市の人口は19万4千人で5年前より3千人減少した。左表に市の地域別の人口・世帯数とその増減率を、世帯数の増加率が多い順に示した。湯田は飲食店やスーパードが多く暮らしやすいと聞いており、また小郡は交通の要衝なのでもっともだと思いが、嘉川が21地域中3位(人口増減率で順位付けすると平川が上位に入るので4位)である。数年来嘉川には多くの住宅が建てられており国勢調査結果が正しく「人気の嘉川」を表しているようだ。調査以降10ヶ月が経過しておりこの間も住宅が増え続けているので、次回の調査が待ち遠しい。

山口市地域別世帯数増加率ベスト5

増減は2015年との比較

順位		2020年10月1日		人口増減 (%)	世帯数増減 (%)
		人口	世帯数		
1	湯田	13,553	6,502	4.4	8.0
2	小郡	26,354	12,021	3.3	7.2
3	嘉川	6,615	2,646	1.3	6.7
4	阿知須	9,236	3,533	△2.0	4.2
5	吉敷	14,806	6,260	△0.1	3.9
	他16地域計	123,546	55,661	△3.6	0.4
	市合計	194,110	86,623	△1.7	1.9

他16地域: 大内、平川、宮野、大蔵、白石、大股、秋穂、徳地、阿東、小鱈、二保、錦銭司、佐山、陶、秋穂二島、名田島

事業計画

よし ところよし

快適に
るまちみんなが楽しく
ふれあうまち頼もしい地域のボランティアの入会式
(川西中学校さぎすなの生徒さん119名)

動用品の貸し出しや健康づくり団体活動の支援など地域住民の健康増進と元気な健康ライフを応援します。

④は、地域のために活動しているボランティア組織や団体の活動を支援します。また、地域の優れた人材を登録し地域の財産として活躍できる場を創ります。

①は、地域のみんで子育てができるように「子育て支援団体」の活動を支援します。

②は、いきいきサロンや老人クラブ活動など、高齢者が生きがいと地域との繋がりの中で暮らせるよう支援します。

③は、元気あつぷチャレンジ、スポーツ活

ひとづくり部会

◎部会長
落合 敏行

地域のだれもが健康で豊かに

ひとづくり部会では、①すこやか子ども未来

②みんなで健康長寿 ③楽しい健康ライフ

④がんばる人づくりの四つの事業を柱に15項目の活動を展開しています。

環境づくり部会

◎部会長
末岡 茂美

きれいな生活環境をめざして

地域のだれもが健康で豊かに生活できるように、みんなの元気がこだまするまちを目指して取り組みます。

以前は環境という言葉、事業は公私ともに常に最後の方の順番でした。しかし近年は先ず生活環境がきれいであること、衛生的であることが考えられるようになりました。さて環境部会の一斉清掃の日は、皆様のご協力のもと平成20年に始まり今年度は13年目になります。

本年度は、深刻さを増しているプラスチック中でも海洋プラスチックの清掃も実施できればと考えています。

嘉川花いっぱい運動は既に春の花配布は5月末に終了、東西本郷のコスモス畑の整備は着実に進んでいます。

自治連合会は、嘉川駅が昨年120周年を迎えたことを機に、新山口駅と掲示板の使用協定書を結び、毎月の嘉川情報を発信しています。みんなの駅であり綺麗な駅であるように7個のプランターを設け、色々の花を咲かせています。また今年度は駅舎待合室内の壁の塗り替えを考えています。



嘉川駅に設置されたプランター

安全づくり部会

◎部会長
長掛 実優しい交通ネット 公共インフラ整備
みんなが安心快適に暮らせるよう

交通空白地域の高齢者や交通弱者に寄り添う優しい交通環境をつくるため、コミタクの運行支援等に取り組んでいます。

昨年度は、コミタクの厳しい経営状況を改善し、買物や通院などで利用しやすく便利なコミタクとなるよう、運行ルートや運行ダイヤの見直しを行いました。

4月からは、東江崎4地区(相原、高見、向原、原)からまるき經由嘉川クリニックスへの8便で運行しています。沿線の皆さんのご利用が事業継続へととなりますので、多数ご乗車されるようお願いいたします。

嘉川地域の安心・安全で住みよい環境づくりのために、地域内の道路や河川、下水道等、公共



岡交差点改良工事 完成

岡交差点 着工前

ひとよし もの

みんなの元気が
こだまするまち

みんなが
暮らせ



インフラの整備を引き続き行います。身近な市道で改良が必要な箇所があれば、地元自治会の要望により市へ要望し事業を推進しています。今年度は、5路線の工事と2路線の測量設計が実施される予定です。また、市道の他に里道や水路（法定外公共物等）についても、地元からの要望により改良や補修の工事を、地域づくり交付金を活用して実施しています。

自主防災本部

◎副本部長

長掛 実

みんなで安心防災

みんなで命を守りましょう

自主防災本部は、各地で頻発している自然災害に対応するため、「自分たちの地域は自分たちで守る。」という連帯感に基づき組織されました。地域住民の自発的な防災活動を行うために、自治会の防災活動を支援し、情報の伝達や収集を行い、地域交流センターと連携・協力しながら、地域防災の活動を行っています。

昨年は、9月6日に大型台風10号の襲来によつて地域交流センターに53名の方が避難されました。コロナ禍での感染リスクをさげながら避難所運営を行い、防災本部としては貴重な

経験となりました。

今年度は、この経験を活かしながら、7月の豪雨や9月の台風シーズンに備えるため、7月17日に避難所運営に関する防災訓練を災害ボランティアかがわと合同で実施しました。



簡易ベッドの組立

今後、自治会の自主防災組織の設置を進め、小中学生を対象にした防災学習や地域の状況に応じた防災避難訓練等、みんなで命を守る地域防災力を高めます。災害発生時には皆さんの避難行動や避難生活の支援等を行い、安心して暮らせる地域づくりを推進します。

まちづくり部会

◎部長

伊藤 篤紀

地域の活性化とふれあい交流の推進

地域を元気にし活性化を図るため、これまでまちづくり委員会、嘉川美食倶楽部、嘉川昭和会、嘉川元気会などの協力を得て、様々なイベントを企画し地域住民のふれあい交流を図ってきました。昨年は新型コロナ感染拡大防止のため、多くの諸行事が中止となりましたが、コロナ禍でも密を避けて実施できる「謎解きアドベンチャー2020年 in かがわ」は、みんなで

楽しめる良い企画だったと高い評価を得られ、

今年も継続して開催することにしました。

また昨年、山口市の特別交付金で制作したオリジナル屋台を活用し、「嘉川マーケット」を適宜開催することで、地域住民の交流とコミュニケーションを、さらに進ませたいと考えています。この「オリジナル屋台」は、地元の家具職人さんや、介護用車椅子職人さん、建具職人さんなどに関わってもらい、アイデア満載の美しい屋台に仕上がりました。本事業の主目的である「空地・広場の活用による販売と交流の場づくり」に、役立つものと期待しています。その他の事業は次のとおりです。

- ・コスモスウォーク(9月26日)
- ・3世代交流ウォーキング
- ・ふるさと探訪ウォーク(年4回)
- ・八幡宮子どもみこし(今年度は中止)
- ・川西中学校と連携したあいさつ運動推進
- ・嘉川文化祭総踊り(今年度は中止)
- ・歴史文化財標柱補修と周辺整備



嘉川マーケット開催中

- ・嘉川のお酒「嘉穂の郷」酒米の稲刈り等
- ・御伊勢山登山道整備
- ・嘉川の農産物や海産物を利用した「のり鍋」および菓子類等特産品の開発

嘉川自治連合会 令和2年度決算及び令和3年度予算

【収入の部】

単位(円)

費目	令和2年度決算	令和3年度予算	摘要
交付金	8,302,000	8,302,000	山口市地域づくり交付金
交付金(土木工事分)	4,456,000	4,456,000	土木工事分交付金
助成金	200,000	200,000	地区社会福祉協議会助成金
会費収入	452,000	460,000	会費1戸2000円
繰越金	120,695	270,144	前年度繰越金
雑収入	57	56	利息等
合計	13,530,752	13,688,200	



【支出の部】

単位(円)

事業名	令和2年度決算	令和3年度予算	摘要	
事務運営費	4,749,081	4,772,050	事務局人件費、事務費、消耗品等	
子育て	すこやか子ども未来	222,500	260,000	子育て支援、児童見守り、ふるさと学習、世代間交流学習の活動支援
	みんなで健康長寿	120,000	240,000	いきいきサロン、老人クラブ、交通防犯講習の支援、健康相談の実施
	楽しい健康ライフ	230,058	200,000	元気あつぷ健康教室、生涯スポーツ支援、健康活動支援
	がんばる人づくり	74,628	100,000	ボランティア組織等の支援、人材育成
まちづくり	美しい環境づくり	473,790	630,000	花いっぱい運動、里山づくり、里山研究、地域の清掃活動
	みんなで安心防災	1,109,831	640,000	自主防災組織の支援、防災研修・訓練、小中学生防災学習、防災備品整備等
	優しい交通ネット	102,800	150,000	交通弱者対策の研究、交通安全施設の整備
	公共インフラ整備	4,456,000	4,456,000	法定外公共物等整備
ふるさと	ふれあい交流	115,637	360,000	コスモスウォーク・三世代ウォーク、子どもみこし等の運営・補助、あいさつ運動
	歴史文化の伝承	296,721	150,000	白河踊りの伝承、文化遺跡の維持管理
	嘉川らしいまちづくり	212,810	350,000	酒造りの支援、地産料理、まちおこしの研究
	嘉川の情報発信	794,200	650,000	広報紙の発行、ホームページの維持管理、嘉川の魅力発信
地域づくり交付金計	12,958,056	12,958,050		
活動運営費	302,552	730,150	会議費、部会活動費、人権学習大会、地域活動費等	
合計	13,260,608	13,688,200		

みんなで命を守る防災

嘉川自主防災本部

災害時の避難行動

◎いつ避難する？

避難情報	高齢者等避難 避難指示 ※
情報収集	テレビ、防災無線、防災メール、隣人
早期避難	大雨の前、暗くなる前

※危険な場所から安全な場所へ全員避難する

◎どこへ避難する？

避難所	避難で迷ったら先ず交流センター ※ 中学校、小学校、地区公民館等
安全な避難場所	自宅の安全な場所、親戚・知人宅 ホテル・旅館(事前に確認)

※避難情報発令で交流センター、状況により小中学校

◎何を持っていく？

1～2日分	食料、飲料水、常備薬、衛生品 ※
衣服等	温かい服装、着替、タオル、靴、雨具
携行品	携帯電話、充電器、懐中電灯、薬手帳
避難所にある物	個人用床敷マット、断水時簡易トイレ 身体不自由者用簡易ベッド、毛布

※長期にわたる場合は食料等が提供される

◎注意することは？

避難ルート	災害により安全なルートを判断
避難方法	事前準備に従って早めの避難 ※
ペット同伴	ケージに入れ飼主が責任管理
健康管理	感染防止、持病等の自己管理

※遠くに避難の場合は自動車ですべて安全に避難する

◎高齢者等への声かけ・避難支援

要支援者	高齢独居者、障害者等の避難困難者
避難支援	声かけて一緒に避難、安否確認 ※

※高齢者等は普段から声かけ・見守りを心がける

平常時の防災活動

◎災害リスクを知る！

豪雨、台風、地震等の災害リスクを確認 ※
防災ガイドブック・ハザードマップで確認
周辺の川や急斜面等の災害リスクを確認
周辺の過去に発生した災害を確認
災害リスクに応じた避難所・避難場所の確認

※浸水や土砂崩れ等は起こるべくして起こる

◎家庭で備える！

家族との連絡方法、避難の方法・場所の共有
家の中の安全確保、家具の固定、出口確保
停電に備え懐中電灯、断水に備え非常トイレ
家庭での食料や日用品はローリングストック ※

※普段から少し多めに買って、使ったら買い足す

◎地区で備える！

地区で安心安全な防災体制を話し合う ※
災害リスクに応じた避難行動や避難訓練
地区避難所の設営や運営を準備

※各地区で自主防災組織の結成が期待される

◎過去30年の山口県内災害

H 3年9月	台風19号	暴風雨高潮	電柱倒壊
H11年9月	台風18号	暴風雨高潮	空港冠水
H17年9月	台風14号	豪雨	岩国錦川氾濫
H21年7月	中国九州北部豪雨	防府特養土石流	
H22年7月	九州北部豪雨	厚狭川氾濫	
H25年7月	山口島根豪雨	阿東山口線不通	



ホームページをご活用下さい!!

<https://www.kagawaj.com/>

「嘉川自治連合会公式ホームページ」は、左記のアドレスまたはQRコードを読みとりパソコンやスマートフォンでご覧下さい。



地域では今……

嘉川の今をDVDに！

◎広報部委員長 竹本 信子

嘉川自治連合会ではこの度、元号が平成から令和に改元されたことを契機に、著しく変貌をとげている現在の嘉川を映像にして、後世に伝えることになりました。

嘉川には既に平成6年に刊行された「ふるさと嘉川」という立派な郷土史誌があります。そして更に昭和53年に作られた8ミリ映画をDVDにした「わたしたちの村・嘉川」があります。嘉川の自然、産業、人々の暮らし、祭りが丁寧に撮られた映像は、当時の人々のエネルギーがダイレクトに伝わってくる素晴らしい作品です。特に市内からも一目置かれていた体育祭は、各地区が工夫をこらし、皆のパワーが炸裂して本当に楽しんでいる様子は圧巻です。

この作品を作られたのが「自治連だより21号」で紹介した、上中野出身の縄田皓さんです。現在は大内に在住ですが、この度、今の嘉川を撮るといふ大仕事を、再度引受けて下さいました。ご高齢ながら縄田さんのふるさとを想う熱意に添えて、嘉川自治連も一緒になって協力し働きます。



縄田さんには、これから嘉川がふるさとになる子ども達の為にも、ぜひ素晴らしい作品に仕上げてくださいたいものです。



皆様もこれはぜひ後世の人に残してほしいという地域の行事や物、人などの情報がありましたら、どうぞ遠慮なく嘉川自治連の事務局(083-989-3956)までご連絡ください。私達は、ぜひとも、第2弾の「ふるさと嘉川」のビデオ作品にして、皆様に見て頂きたいと思っています。

どうかご期待ください。なお、「わたしたちの村・嘉川」のDVDを観られた方は、事務局までお申込みください。貸出し出来ます。

嘉川マーケットを始めました

◎嘉川美食倶楽部 今藤 恵子



嘉川美食倶楽部は嘉川で暮らす喜びと、人と交わりながら私達の暮らしを豊かにするため、奇数月の第3土曜日(11時~13時)嘉川交流センターにて、嘉川マーケットを開催しています。

まず、場作りとして、お洒落なオリジナル屋台を地元の職人さんに作ってもらいました。

商品開発では、酒粕とお米をパウダー状にするために必要な機材を購入し、酒粕パウダーや米粉にして試作を重ね、これまでマドレーヌ、シフォンケーキ、酒粕入り炊込みご飯等を作って販売しました。マーケットのお客さんや出店者との情報交換等もでき、人との繋がりをつくることができました。私達の倶楽部は、こうした活動を通じ、「住みたいね。嘉川 ひとよし ものよし ところよし」で、嘉川を元気にしたいと思っています。今年も、他団体と連携をとりながら、地域行事として開催していく予定です。

「嘉穂の郷」の祈願酒を販売します

◎嘉川まちづくり委員会 渡辺 和弘

ふるさと嘉川の酒「嘉穂の郷」は、本年度販売を開始して12周年を迎えます。この度、地域内外のより多くの方へ更に喜んでいただくため、嘉川八幡宮で「家内安全」「無病息災」を祈願した「嘉穂の郷」を販売いたします。

銘柄は「純米吟醸酒二にこり酒」で、どちらも4合瓶各100本の数量限定です。販売時期は今年12月から来年1月を予定しており、嘉川地区内取扱店での販売となります。販売内容の詳細は、改めてご案内いたします。

地元の八幡宮で祈願した地元の酒「嘉穂の郷」。数量限定ですので、この機会にぜひお買い求めください。



嘉川に帰って思うこと

◎小池 誠一(中市)

山口を追われて、大阪へ30数年、そして大阪を追われて11年の私です。

なぜ山口へ帰郷してきたか？第一に墓と仏様があること、第二に生まれた時から長男として育てられ、家を継ぐことを言われつづけ、宿命と思ったからか？それともその時代がそうさせたのか？

色々あって、山口へ。生まれ育った古い家を解き更地にし、家を建てた。次に、ブロック塀を作り、倉庫を建て、バイクガレージを建て、更地にレンガを敷き、四季にそれぞれ咲く花や木を植えた。そして、趣味に時間を使いたいと思い、まずステンドグラスを習いに下関まで通い、その後竹細工、陶芸、冬にはリース作り。時には長年乗っているバイクでツーリングもする。今は畑で作物を作っているが、作ると言っても手のかからない、サツマ芋、ジャガ芋。昨年は大きなサツマ芋ができ、テレビにも出演した。

若い時には感じなかった、花や木に癒しを感じる日々。帰郷したからこそ思う感覚かも知れない。

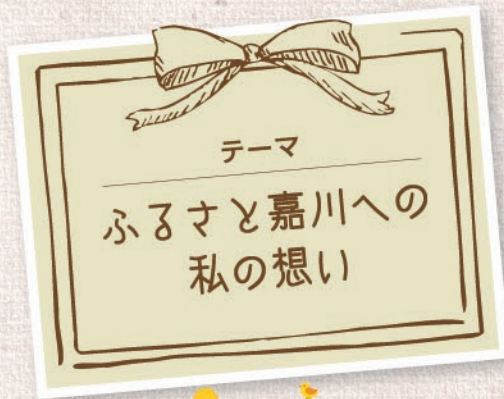


私の作品 ステンドグラス

嘉川の良
いところは
まず道路が
整備されて
いること。
山、川、海に
近い。食べ
物は大阪に

も美味しいものは多数あるが、山口の魚介類、野菜、山菜が新鮮で美味しい。さらに地の利が良い。新幹線新山口駅へ10分、中国自動車道、山陽自動車道へも近く最高である。コロナ禍のせいで大阪に住む孫にも会えず残念な昨今だが、近くに美味しい蕎麦店ができてうれしく思っている。

来年こそ自由に、どこへでも行ける日がきますように……。



故郷での新たな出発進行!

◎磯山 英明(下高根)

私は、1975年(昭和50年)当時の国鉄に就職し、奇しくも山陽新幹線開業の年、小郡駅(現新山口駅)にて社会人としての第一歩を、踏み出しました。

以来45年間、鉄道の仕事に係わり、終着は第三セクター錦川鉄道(岩国市錦町)経営に5年間。2020年に退任すると、ふ

るさと(嘉川下高根)に落ち着きました。かつて4月の定例総会で、自治会長は「当地区も高齢化が進んでおり、お互いに積極的に声かけをしましょう」と呼びかけられました。

自宅周辺を見回しても年齢構成が、以前見てきた中山間地域と同様である事にショックを受けました。

錦川鉄道は、岩国市内から錦川沿いに約40km北上。観光シーズンには「秘境駅の清流みはらし駅」停車のイベント列車で賑わいます。しかし、日常は通勤・通学客、高齢者が殆どです。

在職中、下高根から四組のご夫妻を含む12名が、錦帯橋・岩国城の散策、錦川清流線・とこととトレインご乗車を楽しみ、錦町雙津峡温泉に宿泊されました。

夕食後は昔話に花が咲き、久しぶりに私も地元先輩方と、意思疎通を図る、好機をいただきました。

今、地元では、小・中学生を始め、老若男女、中には外国人の方も皆さん笑顔で挨拶されており、爽快で明るい雰囲気になっています。

私も地域の一人として良き習慣に学び、頑張つて参りたいと思います。



春の錦川清流線

情報
発信

《私の自治会は》

伝統行事を大切にしています

◎向原自治会長 若崎 隆夫

向原自治会は、昔からの伝統的行事を大切に守り続けてきており、今後も続けていく予定です。その行事の一つ目は、8月24日に行う「お地蔵様」、二つ目は、旧暦の11月1日の「大歳祭」、三つ目は、1月6日の「御伊勢祭」です。これらの祭事・神事の後の接待・直会では、和やかな雰囲気の中、会員同士の親睦を深めるいい機会となつていきます。

なかでも、「大歳祭」の準備に当たっては、7.2mの祭用の幟のぼりを掲揚するため、令和元年度までは大変苦勞して、約8mの長さの真っ直ぐな孟宗竹を毎回準備していました。高齢化が進む中、孟宗竹の準備が大変なので、大歳祭用のポールを建てることで自治会員が賛同し、令和2年9月にポール設置工事が完了しました。同年12月15日の「大歳祭」の本番では、新しいポールに幟を掲揚し、神事等を滞りなく行うことができました。今後も「大歳祭」の際は、大活躍してくれることでしょう。

なお、令和2年度は、新型コロナの感染防止のため、接待・直会は中止し、弁当を配布しました。



働く親も子ども安心

放課後児童クラブ

おおぞら学級

◎広報部会 田中 澄子

嘉川小学校から徒歩2、3分ののどかな地に「おおぞら学級」はある。現在1年31名、2年20名、3年10名が通っている。15時過ぎ下校してきた子ども達はまず宿題にとりかかる。約30分間で終わると、みんなそろって一番の楽しみのおやつ時間である。その後は屋内外で遊びに夢中になってそれぞれ時間を過ごす。これが毎日の日課だが、誕生会や餅つきなどたくさん行事が組み込まれている。18時、家族の迎えてここでの時間は終わる。

先生は10人、学校と家庭のつなぎの時間を充実させることに力を注ぎ、学校でも家でもない素の顔を見せてくれる子ども達に、元気をもらっているという。親の就労支援を担い、子ども達の社会的、精神的成長に携わっている自負がうかがえる。



子ども達は、人なつこく明るい笑顔で「楽しい」と口をそろえる。

最近急速に児童が増えているが、今後どう対処されるかが目下の課題のようだ。

仲よし学級

◎広報部会 本永 里美

「仲よし学級」は、嘉川保育園の中にあり、子ども達は興進小学校から集団下校で来て保護者の迎えを待ちます。児童数は16名で、1年4名、2年6名、3年5名、5年1名です。先生は2名で指導されています。

嘉川保育園での学童保育は、国の事業が始まる以前、昭和58年頃から保護者の要望に応じて、自主事業として始められたことです。現在は、山口市の委託を受けて開設されています。

子ども達は、おやつを食べて、宿題を済ませたら後は自由で、ブランコなどの遊具やゴム飛びなどをして、みんな仲良く過ごします。

ほとんどの子が嘉川保育園に通っていたということもあって、少数でアットホームな雰囲気です。

学校で一日頑張ってきたので、ほっとできるような場であるよう配慮されています。



編集後記

東京は、コロナで第4回目の緊急事態宣言発令。そして東京五輪は無観客開催。それでも選手が懸命に競技に挑む姿には感銘を受けつつも、連日コロナ感染拡大のニュースに、日々不安は募るばかり。いったい何時になったら終わるのか。この23号が配布される頃は、どんなことになつているか想像もつかない。

ただ一日も早くマスク生活が終わって、お互いの笑顔がみられる日々がくるよう願うばかり！